

来ぶらり79

大学生になったことを実感することの一つに図書館がある。高校の図書室と違って独立した建物でなにやら厳としている。今はあまり耳にしないが、大学は「学問の府」と呼ばれ、それを象徴するのが図書館であった、と過去形で言うのは間違いだろう。今もその存在は象徴的である。わたしは大学図書館をその大学の顔と思っている。たとえばイギリスのオクスフォード大学にはボドリアンライブラリーが、ケンブリッジ大学にはユニバーシティライブラリーがあって、蔵書の多さもさることながら、それぞれ観光の名所にもなるくらいの存在感を持っている。そして本学の図書館も木立に囲まれてゆかしい風情ではあるが、それなりの存在感はある。

ややいかめしい印象の図書館だがいざ入館してみると、意外に居心地いい空間である。その静謐さになじんで、自分自身の空間を作り出せばしめたものだ。期末試験シーズンになると入館者が急に増えるのはそのせいで、自宅などより勉強がはかどるからだろう。これも図書館利用の一つである。しかし、日常的に入館するリピーター（英語ではこう言わない）になる学生がいるのは、誰にも邪魔されずにその人なりの愉楽の時間を得ることができるからだろう。

図書館への誘い

図書館長

4月1日から大学図書館長に就任
塩谷清人（文学部教授）

外国映画にはしばしば大学図書館のシーンがある。私はそのたびに興味津々になる。皆それぞれ楽しそうに見える。調べものをしていても知的愉楽があるからだろう。

自分の家の本棚にある蔵書など知れたものだが、図書館にはさまざまな本がある。お宝といえる古い和書や洋書もあるが、手取り早く目についた事典類の図版をパラパラめくってみる。それだけでも想像力が広がる。閲覧席での読書は適度の緊張感があっていい。疲れれば、雑誌、新聞のコーナーや休憩室へ行ってのんびりするのもいい。1、2階の開架の書棚を眺めているだけでもいい。背表紙を見ているだけで勉強になるという人もいる。

そして、図書館には十数年前まではなかったパソコンが配置されている。これだけでも図書館に足を運ぶ価値はある。学内なら、館外のパソコンから図書検索など基本情報のアプローチは可能であるが、館内2階のデータベース検索コーナーはさらに有益な外部のデータが得られる。求める図書が本学にない場合、学外（たとえば、四大学協定校や山手線沿線私立大学コンソーシアムなど）からも借りることができる。

本の虫とは言わなくとも、図書館のザムザに変身するのはどうだろうか。

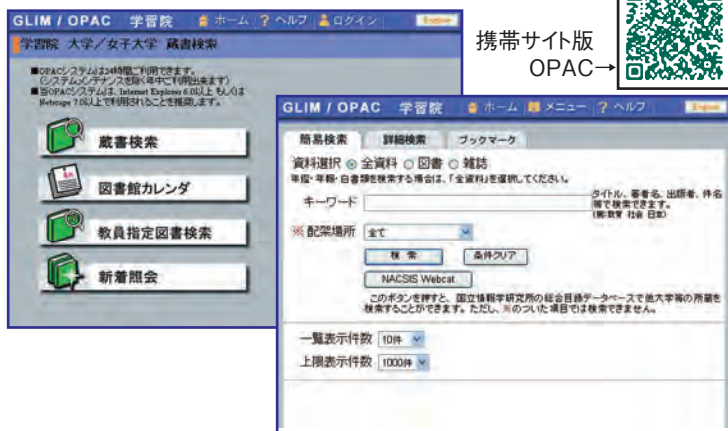
ハワー・アップ! ホームページ

2007年4月大学図書館のホームページが全面リニューアルしました。たくさんの使いやすいコンテンツで勉強・研究をサポートします。「何冊本が借りられるの? 読みたい本はどこにあるの? レポート・卒論作成はどういうふうに始めればいいの?」そんなときにはまずアクセス。いつでもどこでも図書館サービスをご利用ください。

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/>



 グリム/オパック
GLIM/OPAC (学習院 大学/女子大学 蔵書検索)////



新 GLIM/OPAC では、1つの検索画面から学習院と全国の大学図書館 ウェブキャット **【Webcat】** の図書検索が行えるようになっていました。学習院のユーザ ID ・ パスワード*を使って個人向けサービス **My GLIM** にログインすると、図書の予約・借りている本の返却期限の確認・貸出期間の延長が可能です。また**携帯サイト版 OPAC** では、図書検索と返却期限の確認などができます。

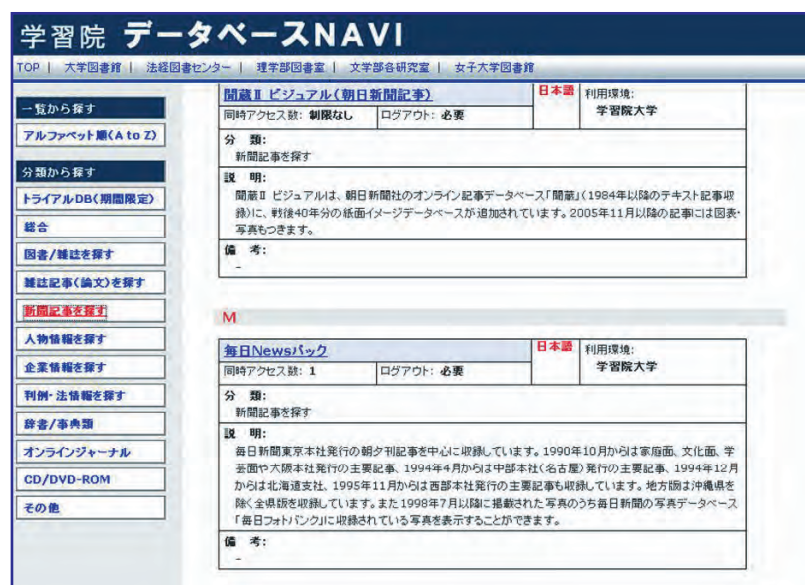
*学部生は「初等情報処理1」・「情報処理入門1」の授業で申請します。

2 **המיקס** **////////////////////**

旧ホームページのフロアマップに比べ、椅子や書架が立体的に表現されている**3D** マップです。アニメーション作成ソフト「Flash」を使って作成したため、視覚的に動きのあるフロアマップになっています。全体図から詳細図にズームアップしたり、本の分野名をクリックすると、配架場所が点滅したりするので、どこにどのような本があるのかがわかりやすくなりました。従来のフロアマップの機能に加え、**配架マップ**の機能も兼ね備えた新たなフロアマップはまさに、「**動くフロアマップ**」と呼べるでしょう。



3 テータース DAVI



■ 学習院のキャンパス内で利用できるデータベースの他、各家庭でも利用できるデータベースも掲載しています。

レポートや論文作成の強い味方になってくれるデータベース。何となく使ってはいるけれど、どのような場合にどのデータベースを使えばいいのかよく分からないという人も多いのではないのでしょうか。今回のリニューアルでは、**学習院大学で契約しているほぼすべてのデータベース**をこのページから利用できるようにし、あわせて**検索機能**の追加やレイアウトの変更を行いました。皆さんにとってデータベースがより身近な存在になることを期待しています。

■ 大学図書館整理課／鈴木 泉 ■ 運用課／白石和徳・入村圭紀

よみがえる彩

伴大納言絵巻
ばんだいなごんえまき



平安後期の絵巻物の名品。清和天皇の治世下、貞観8年3月10日夜、内裏の朝堂院正門である応天門が不審火で焼け落ちるという事件が起こった。いわゆる「応天門の変」である。事実関係はともかく、出世を願って政敵の抹殺を計った一野心家の野望と失墜を描いたドラマである。策略家大納言（とも）のよしお伴善男はみずから応天門に火を放ち、その罪を左大臣（みなもの）のまこと源信に着せるが、実は目撃者があって、子供のけんかをきっかけに真相が露見、事態はいっきに解決に向かい、罪が確定した伴大納言は流刑に処せられるというもの。起承転結を踏まえた5段構成で、絵と詞書から成る。絵の巧みなデッサン、豊かな色彩、体系だった画面構成は、「鑑賞絵巻」と呼ぶにふさわしい。

当館所蔵は、「国書総目録」によれば写本。近年、貴重書整備計画に基づき、折本3巻として書棚にあったものを、外箱を購入し、ラベル等の表装を整え、貴重書室キャビネットに収納した。今春、ホームページの改訂により、幾つかの名シーンが電子図書館として公開されることになった。新入生の皆さんにもぜひ見ていただきたい。

■ 大学図書館運用課／霧島浩一

お知らせ

7月・1月の日曜開館

試験期の7月と1月の日曜・祝日に開館いたします。貸出・書庫資料の閲覧・閲覧席の利用ができます。レファレンス・東1号館書庫・研究室資料の利用はできませんのでご注意ください。

開館日：7月15・16・22・29日、1月13・14・20・27日

開館時間：10：00～18：00

■ 「来ぶらり」のバックナンバーは(<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/library/raiburari.html>)で公開しています。■

来ぶらり No.79 2007年4月1日発行

発行責任者：塩谷清人 編集委員：入村圭紀・生田陽子

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

☎03-3986-0221(代) 内2396(レファレンス) 内2397(閲覧) 03-5992-1009(閲覧直通)